

福津市まちづくり基本構想

将来像：人も自然も未来につながるまち、福津。

1. 共育：誰もが「未来の創り手」として育つまち

1. 子どもの権利を守り、多様な子どもの居場所や主体的な参加の機会を促進する
2. 子育て中の親を支援する環境を充実させる
3. 豊かな体験を育み、社会に開かれた教育を推進する

2. 地域自治：人がつながり活躍する共助と共働のまち

1. 郷づくりによる地域自治の推進を支援する
2. 郷づくりの担い手育成と幅広い市民参加を促進する
3. さまざまな個人や団体間の共働を推進する

3. 健康：健康で生き生きと暮らせるまち

1. 日常の中での健康づくりの取り組みを推進する
2. 生涯学習や活躍の機会を通じた生きがいを増進する
3. すべての人の自己決定や意思尊重を大切にするしぐみを育てる

4. 安全安心：安全・安心・快適に住み続けられるまち

1. 災害に強いインフラ整備と地域防災力を強化する
2. 暮らしやすさを実感できる生活基盤を整備する
3. 社会資本の有効活用と改善の推進体制を整備する

5. 環境保全：自然・歴史・景観などの資源が守られ生かされるまち

1. 受け継がれてきた自然を守り、育てる
2. 福津の環境を受け継ぐ子孫のために、地球温暖化を緩和する
3. 快適な生活環境をつくる
4. 環境を守るための地域共働のしぐみをつくる

6. 地域産業：地域の産業が経済を支えるまち

1. 農水産業分野の収益性を向上させ、担い手を育てる
2. 多様な産業が連携し、地産地消を促進する
3. 起業・継業促進と事業所誘致で、働く場を増やす

7. 観光振興：福津の魅力を生かした持続可能な観光のまち

1. 国内外の人が何度も訪れたい魅力を磨く
2. 観光拠点を整備し、観光消費額を拡大する
3. ブランドの構築や管理、販売促進のための活動を強化する

8. まちづくり計画推進にあたっての基本的な考え方

内容非公開

4-2事業

令和6年11月12日

行政評価委員会 資料 1

事業番号▽	事業名	令和5年度						
		施策▼	主要▼	関連▼	政策▼	国補	県補	決算額
21293	ブロック塀等撤去促進事業	●		4-2	政			
9473	橋梁長寿命化修繕事業	●	4-2		政	○		211,056,130
21462	狭あい道路整備促進事業	●	4-2		政	○		92,231,615
21255	空家対策事業	●	4-2		政			297,762
21318	東福岡駅周辺地域団地再生事業	●	4-2	5-3	政	○		24,732,479
20458	道路ストック修繕更新事業	●	4-2		政			47,466,100
20989	公園改修事業	●	4-2		政			84,273,200
9722	大規模公園改修事業	●	4-2		政			16,311,460
10586	福岡駅前線整備事業(県営事業)	●	4-2		政			12,500,000
20995	通学路交通安全対策事業	●	4-2		政	○		43,727,200
22137	津丸踏切改良事業	●	4-2		政	○		18,330,996
10539	市道維持事業	●	4-2					199,750,361
10109	コミュニティバス運行委託事業	●	4-2				○	50,668,703
10559	河川維持管理事業	●						
20461	河川付替整備事業	●			政			
11089	バス運行補助事業	●			政			
11091	地域交通体系協議会事業	●			政			
21321	サイン維持管理事業	●						
22523	雨水浸水対策事業	／	／	／	／			
9541	JR福岡駅周辺施設維持管理事業							
10101	地域交通体系事業事務費							
9665	福岡漁港改修事業		4-2		政			
9668	津屋崎ヨットハーバー改修事業		4-2		政			
21369	久末ダム対策事業				政			
20248	大内川浚渫事業				政			
22294	マンション管理適正化推進計画策定事業				政			
20225	土地利用規制事業			5-1				
10564	都市計画総務事務費							
20036	宗像地区事務組合総務費負担金							
20038	宗像地区事務組合議会費負担金							
20041	宗像地区事務組合水道事業会計費							
10499	松くい虫防除事業							
10501	森林環境税事業							
10375	火葬料補助事業							
20163	北筑昇華苑組合経常費負担金							
20166	宗像地区事務組合保健衛生費負担金							
20174	し尿処理料金補助事業							
20182	宗像地区事務組合清掃費負担金							
10157	公共用地登記事務							
10534	土木総務事務費							
10537	道路橋梁等管理事務							
10543	交通安全施設整備事業							
10560	河川関連負担金事務							
10564	都市計画総務事務費							
10576	JR東福岡駅周辺施設維持管理事業							
10577	市営駐輪場管理事業							
10579	JR東福岡駅エレベーター及び自由通路維持管理事業							
10592	下水道新設改良事務費							
10594	公園維持管理事業							
20142	河川災害復旧事業							
20145	道路橋梁災害復旧事業							
20242	市道パトロール事業							
10534	土木総務事務費							
10535	道路橋梁関連負担金事務							
10595	大規模公園等管理運営事業							
22037	ほたるの里維持管理事業							
10158	国土調査補完事業事務費							

10159	地籍図修正事業							
10540	官民境界立会事務							
11151	モーター類似施設審査会運営事業							
10564	都市計画総務事務費							

福間漁港改修事業

単位：円

[illegible]

津屋崎ヨットハーバー改修事業										単位：円
大事業	津屋崎ヨットハーバー管理運営費					担当	経済産業部農林水産課水産林業政策係			
一般会計		(款) 6 農林水産業費			(項) 3 水産業費		(目) 3 漁港管理費			
基本 構想	テーマ別目標像	4. 安全安心：安全・安心・快適に住み続けられるまち								
	基本方針	2. 暮らしやすさを実感できる生活基盤を整備する								
	分野別計画等									
予算現額	決算額	財源内訳						翌年度 繰越額	不用額	
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他	一般財源			
7,262,000	7,261,100						7,261,100		900	
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）										
津屋崎ヨットハーバーの安全な運営を目的として、経年劣化及び耐用年数超過による設備不具合等について対処します。令和5年度においては、電気設備等の更新を実施します。										
事業の達成度を測る指標										
指標①	高圧受変電設備工事			指標②				指標③		
目標値	1 か所			目標値				目標値		
実績	1 か所			実績				実績		
【事前】課題（事業実施前の課題）					【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）					
高圧受変電設備については耐用年数を超過しており、交換等について急を要するとの報告があがっています。					安全・安心な施設利用を実現します。					
【事後】課題					【事後】成果					
施設の機能保全上の懸念事項であった高圧受変電設備の更新は実施できましたが、機器の老朽化に伴う管理事務所内の空調設備の不具合が発生するなど、施設機能の低下がみられる箇所があります。					老朽化していた高圧受変電設備を更新したことにより、設備不良による施設の停電防止など、施設の機能保全を実施することができました。それにより利用者等の安全・安心な施設利用に寄与することができました。					
課題に対する改善・改革案										
今後も令和3年度に策定した機能保全計画に基づき適切な施設の維持補修を実施し、施設利用者が安全安心に利用できる施設として施設管理に取り組みます。										
事業費の内訳										
科目等	内容			金額	科目等	内容			金額	
工事請負費	高圧受変電設備改修工事費			7,261,100						

[illegible]

コミュニティバス運行委託事業

単位：円

大事業	地域交通体系整備事業費	担当	都市整備部都市計画課都市政策係						
一般会計（款）2 総務費		（項）1 総務管理費（目）6 企画費							
基本 構想	テーマ別目標像	4. 安全安心：安全・安心・快適に住み続けられるまち							
	基本方針	2. 暮らしやすさを実感できる生活基盤を整備する							
	分野別計画等	福津市地域公共交通網形成計画							
予算現額	決算額	財源内訳				翌年度 繰越額	不用額		
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他	一般財源		
51,317,000	50,668,703		2,579,000	1,551,000			46,538,703		648,297
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）									
令和元年8月に策定した地域公共交通網形成計画に基づき、持続可能な公共交通網を形成するため、鉄道や民間路線バス、タクシー等と役割分担し、「ふくつミニバス」を5路線（福間周回線、津屋崎線、上西郷線、勝浦線、東福間・若木台線）で運行しています。									
事業の達成度を測る指標									
指標①	交通弱者の利用人数		指標②				指標③		
目標値	100,000人		目標値				目標値		
実績	64,048人		実績				実績		
【事前】課題（事業実施前の課題）					【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）				
運行ルートや時刻表の表示、運行時間などに対し、市民から意見・要望が寄せられています。利用実績に注視し、より良い路線の構築を図る必要があります。					交通弱者が買い物、通院など日常的に利用しやすい持続可能な公共交通網を形成します。				
【事後】課題					【事後】成果				
ふくつミニバスの利用実績について注視し、より良い路線の構築を図り、運行継続のため、利用人数を増やし、収益を改善していく必要があります。また、新型コロナウイルスは5類に移行したものの、引き続き感染症対策として、車内の消毒や接触機会の減少等を図る必要があります。					ふくつミニバスの路線全体の見直しのため、市民との意見交換や関係機関との協議を進め、福間周回線・勝浦線・津屋崎線について運行形態等を変更し、令和6年4月からの改正運行につなげることができました。				
課題に対する改善・改革案									
福津市地域公共交通網形成計画に掲げる公共交通の基本方針に基づき、引き続き西鉄バスやJR等の幹線軸を補完する役割を果たすとともに、市民にとって使いやすい路線へとブラッシュアップしていきます。そのため、市民の声が届きやすい体制づくりや、運行実績等の収集・分析、定期的な広報等を活用した周知活動等に努めていきます。									
事業費の内訳									
科目等	内容			金額	科目等	内容			金額
需用費	印刷製本費			519,200	負担金・補助及び交付金	公共交通乗継補助金			10,000
需用費	施設修繕料			363,000					
役務費	広報折込手数料			63,360					
委託料	バス運行委託料			47,506,507					
委託料	バス停設置委託料			297,000					
委託料	キャッシュレス決済システム改修委託料			499,400					
使用料及び賃借料	キャッシュレス決済システム使用料			204,336					
工事請負費	待合環境整備工事費			352,000					
工事請負費	バス停設置工事費			814,000					
負担金・補助及び交付金	交通空白地タクシー補助金			39,900					

東福間駅周辺地域団地再生事業

単位：円

[illegible]

空家対策事業									
単位：円									
大事業	空き家対策事業費				担当	都市整備部都市計画課開発建築係			
一般会計		(款) 8 土木費			(項) 4 都市計画費		(目) 1 都市計画総務費		
基本 構想	テーマ別目標像	4. 安全安心：安全・安心・快適に住み続けられるまち							
	基本方針	2. 暮らしやすさを実感できる生活基盤を整備する							
	分野別計画等	福津市空家対策計画							
予算現額	決算額	財源内訳						翌年度 繰越額	不用額
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他	一般財源		
676,000	297,762						297,762		378,238
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）									
令和3年3月に策定した空家等対策計画に基づき実施した実態調査で特定した空き家等の情報を活用して空き家等の所有者へのアンケート等により意向を把握し、必要な情報提供やアドバイス等により空家等の流通の促進を目指します。また、積極的に地域に出向き「まちづくり講座」の利用を勧めるほか、司法書士を招いての空き家予防セミナーを実施し、放置空き家の抑制に努めます。									
事業の達成度を測る指標									
指標①	問題空き家の解体や補修等による是正件数			指標②	空き家バンク登録件数		指標③	空き家バンク成約件数	
目標値	25件			目標値	10件		目標値	5件	
実績	48件（R3:19件、R4:16件、R5:13件）			実績	2件（R3:0件、R4:2件、R5:0件）		実績	1件（R3:0件、R4:1件、R5:0件）	
【事前】課題（事業実施前の課題）					【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）				
アンケートを送付したうち、4割近くが戻ってきていないので、所有者の意向が分からず対応に苦慮している状態です。また、所有者不明の事案や、所有者が判明しても相続問題、経済的問題等で解決できない事案も増加しています。					苦情があった空き家や相談があった空き家の所有者には、空き家バンクを含めたところの売却や賃貸を勧めています。所有者特定には専門的な知識が必要な場合もあり、司法書士等と協力し、空き家問題の解決を目指します。				
【事後】課題					【事後】成果				
実態調査や自治会要望等に基づき空家の適正管理を所有者等に促していますが、すぐに対応いただけるケースとそうでないケースがあり、対応に苦慮しています。そのまま放置すれば著しく保安上の危険があったり、公衆衛生上有害となったりする物件への迅速な対応と、それらを未然に防ぐ方策が求められています。					空家等対策と並行してマンション管理の適正化を進めるため、福津市空家等対策計画を見直し、「福津市空家等対策計画・福津市マンション管理適正化推進計画」に改訂しました。また、空家特措法の改正に伴い、関連する福津市空家等の適正管理に関する条例の改正、及び施行細則の制定を行いました。空き家セミナーは12月に開催し、空家対策の現状説明や個別相談に対応することができました。				
課題に対する改善・改革案									
改正空家特措法や空家等対策計画・マンション管理適正化推進計画に基づき、適正管理されていない空き家への対策を進めるほか、空き家や空き室の価値を上げ、利活用に繋げるための方策も検討していきます。また、それらの周知等のための出前講座やセミナーに関しても継続して実施していきます。									
事業費の内訳									
科目等	内容			金額	科目等	内容			金額
報酬	特定空家等審査会委員報酬			49,200					
旅費	特定空家等審査会委員費用弁償			20,000					
旅費	普通旅費			28,980					
需用費	事務用品費			770					
委託料	空き家所有者特定作業委託料			198,812					

道路ストック修繕更新事業

単位：円

[illegible]

市道維持事業

単位：円

大 事 業		道 路 維 持 管 理 事 業 費		担 当		都 市 整 備 部 建 設 課 維 持 管 理 係															
一 般 会 計		(款) 8 土 木 費		(項) 2 道 路 橋 梁 費		(目) 2 道 路 維 持 費															
基 本 構 想	テ ー マ 別 目 標 像		4. 安全安心：安全・安心・快適に住み続けられるまち																		
	基 本 方 針		2. 暮らしやすさを実感できる生活基盤を整備する																		
	分 野 別 計 画 等		第2次福津市都市計画マスタープラン																		
予算現額		決算額		財源内訳				翌年度 繰越額		不用額											
				国庫支出金		県支出金		繰入金		市債		その他		一般財源							
200,228,000		199,750,361								200,000				199,550,361				477,639			
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）																					
市が管理する道路施設において、経年劣化等により機能が著しく低下したものの修繕を行います。道路陥没、側溝清掃等小規模な案件については地元土木組合との委託契約に基づき、原材料を支給し委託工事を実施します。アスファルト舗装のうち替え等の修繕が必要な施設で一定規模を超えたものについては、道路維持工事を実施します。また、道路植栽について、定期的に剪定・草取り作業等を行い適正な維持管理に努めます。																					
事業の達成度を測る指標																					
指標①		市道維持工事委託発注件数				指標②		市道維持工事実施箇所数				指標③									
目標値		700件				目標値		30箇所				目標値									
実績		650件				実績		50箇所				実績									
【事前】課題（事業実施前の課題）											【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）										
道路施設の老朽化に伴い、健全な状態に保つための維持工事の継続的な実施が必要です。自治会からの道路施設に関する要望も増加傾向にあり、予算内での問題解決が難しい状況です。また、地域で自主的に実施いただいている除草作業等についても、「高齢化に伴い作業ができない、市が作業して欲しい」との声が多くあります。											道路施設の損傷が軽微なうちに修繕等の対応を行うことにより、工事の規模が大きくなることを防ぎ、より多くの箇所の問題解決が図れるようになります。なお、除草作業等については、危険箇所は市が実施する等、地域と連携しながら事業を進めます。										
【事後】課題											【事後】成果										
道路施設の老朽化に伴い、健全な状態に保つための維持工事の継続的な実施が必要です。自治会からの道路施設に関する要望も増加傾向にあり、予算内での問題解決が難しい状況です。また、地域で自主的に実施いただいている除草作業等についても、「高齢化に伴い作業ができない、市が作業して欲しい」との声が多くあります。											地元土木組合との委託契約による小規模な道路等の維持は650件、中規模な道路維持工事は50箇所実施しました。併せて市道等の植栽管理を適時適切に実施することで、道路の安全性保持と、除草作業等地域ニーズへの対応を行いました。										
課題に対する改善・改革案																					
道路施設の損傷が軽微なうちに修繕等の対応を行うことにより、工事の規模が大きくなることを防ぎ、より多くの箇所の問題解決が図れるようになります。除草作業等への対応については、法面等の危険箇所は市が実施する等、地域と連携しながら事業を進めます。																					
事業費の内訳																					
科目等		内容				金額		科目等		内容				金額							
委託料		市道維持工事委託料				94,995,278															
委託料		市道植栽等管理委託料				31,755,914															
工事請負費		市道維持工事費				57,999,700															
原材料費		市道舗装補修等材料代				14,999,469															

橋梁長寿命化修繕事業

単位：円

大事業	橋梁長寿命化修繕事業費	担当	都市整備部建設課建設係						
一般会計（款）8 土木費		（項）2 道路橋梁費		（目）5 橋梁維持費					
基本 構想	テーマ別目標像	4. 安全安心：安全・安心・快適に住み続けられるまち							
	基本方針	2. 暮らしやすさを実感できる生活基盤を整備する							
	分野別計画等	個別施設計画（橋梁）							
予算現額	決算額	財源内訳						翌年度 繰越額	不用額
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他	一般財源		
230,225,000	211,056,130	113,564,000		10,900,000	74,300,000	3,014,000	9,278,130		19,168,870
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）									
これまで道路橋の維持管理は、対症療法的な修繕や架け替えを行う事後保全型が主体でしたが、今後老朽化する道路橋の急増が予想されたため、平成25年度に橋梁長寿命化修繕計画を策定しました。また、平成26年7月には道路法施行規則が改正され、道路橋について5年に一度の近接目視点検が義務付けられました。計画的に点検や修繕工事、架替工事等を行うことで、維持管理費の増加や集中を抑えるとともに、安心・安全な道路橋の管理を実施します。									
事業の達成度を測る指標									
指標①	点検実施数		指標②	長寿命化設計橋梁数		指標③	長寿命化工事実施橋梁数		
目標値	62		目標値	1		目標値	8		
実績	62		実績	1		実績	3		
【事前】課題（事業実施前の課題）					【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）				
長寿命化・架替・撤去・集約化など各道路橋の状態に即した判断を行い、道路橋に対する長期的な維持管理を行っていく必要があります。					個別施設計画（橋梁）に基づき、予防保全を実施することで、長期での維持管理経費の抑制・平準化を図り、長寿命化等を行い、適正な維持管理を実施することで、市民が安心して安全に利用できる生活基盤を維持・整備することができます。				
【事後】課題					【事後】成果				
長寿命化・架替・撤去・集約化など各道路橋の状態に即した判断を行い、道路橋に対する長期的な維持管理を行っていく必要があります。					計画していた法定点検を62橋、長寿命化設計を1橋、長寿命化工事を3橋を実施し、生活基盤である道路ネットワークの安全性・信頼性の向上がより図られました。				
課題に対する改善・改革案									
個別施設計画（橋梁）に基づき、長寿命化、架替、撤去、集約化など老朽化した道路橋に対する対策等を各々検討し、適切な橋梁の維持管理に努めていきます。									
事業費の内訳									
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額				
委託料	橋梁定期点検業務委託料	21,693,550							
委託料	橋梁修繕工事設計監理委託料	7,810,000							
使用料及び賃借料	橋梁点検システム使用料	224,180							
工事請負費	橋梁修繕工事費	181,328,400							

大規模公園改修事業

単位：円

[illegible]

[illegible]

公園改修事業

単位：円

[illegible]

[illegible]

狭あい道路整備促進事業

単位：円

大事業	道路新設改良事業費			担当	都市整備部建設課建設係					
一般会計		(款) 8 土木費		(項) 2 道路橋梁費			(目) 4 道路新設改良費			
基本 構想	テーマ別目標像	4. 安全安心：安全・安心・快適に住み続けられるまち								
	基本方針	2. 暮らしやすさを実感できる生活基盤を整備する								
	分野別計画等	第2次福津市都市計画マスタープラン								
予算現額	決算額	財源内訳						翌年度 繰越額	不用額	
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他	一般財源			
201,902,000	92,231,615	34,401,000		14,400,000	40,900,000		2,530,615	93,227,000	16,443,385	
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）										
道路幅員4.0mに満たない狭あいな道路を拡幅・改良することにより、地域交通の快適性・安全性の向上並びに緊急車両通行に係る問題解消を図ります。										
事業の達成度を測る指標										
指標①	整備実施路線数			指標②				指標③		
目標値	3			目標値				目標値		
実績	2			実績				実績		
【事前】課題（事業実施前の課題）					【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）					
道路拡幅工事に向けては、用地買収は必須であるため、自治会や地権者との合意形成が課題としてあげられます。また、事業推進においては、財源の課題もあり、社会資本整備総合交付金（国費）の継続的な確保に向け、福岡県との連絡調整を適時に行う必要があります。					狭あいな道路を拡幅することにより、安全かつ快適な通行が可能となり、地域交通の環境や緊急車両通行に係る問題等の地域課題が改善され、地域の安全性の向上につながります。					
【事後】課題					【事後】成果					
道路拡幅工事に向けては、用地買収は必須であるため、自治会や地権者との合意形成が課題としてあげられます。また、事業推進においては、財源の課題もあり、社会資本整備総合交付金（国費）の継続的な確保に向け、福岡県との連絡調整を適時に行う必要があります。					【在自・柳ヶ宿3号線】 自治会や地権者への説明や用地交渉を踏まえ、用地買収や物件移転補償の事務を進めて道路拡幅工事に着手し、事業進捗が図られました。なお、令和6年度繰越明許費により工事を継続します。 【津屋崎40号線】 物件移転補償の事務を進め、道路拡幅工事を実施し、事業を完了しました。					
課題に対する改善・改革案										
自治会・地権者への丁寧な事業説明を随時行いながら、事業に対する理解を深めていただき、合意形成を図って、事業推進を図ります。また、財源の確保においては、国庫補助事業を引き続き活用していくため、福岡県と連携を図って、協議等に努めていきます。										
事業費の内訳										
科目等	内容			金額	科目等	内容			金額	
工事請負費	道路改良工事費			49,928,000						
公有財産購入費	道路改良工事用地購入費			4,758,408						
補償・補填及び賠償金	道路改良工事に伴う補償費			12,265,097						
工事請負費	道路改良工事費			24,215,400						
補償・補填及び賠償金	道路改良工事に伴う補償費			1,064,710						

津丸踏切改良事業

単位：円

大事業		道路新設改良事業費		担当		都市整備部建設課建設係			
一般会計		(款) 8 土木費		(項) 2 道路橋梁費		(目) 4 道路新設改良費			
基本 構想	テーマ別目標像	4. 安全安心：安全・安心・快適に住み続けられるまち							
	基本方針	2. 暮らしやすさを実感できる生活基盤を整備する							
	分野別計画等	第2次福津市都市計画マスタープラン							
予算現額	決算額	財源内訳						翌年度 繰越額	不用額
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他	一般財源		
21,240,000	18,330,996	7,150,000		5,100,000	5,200,000		880,996		2,909,004
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）									
近年の全国的な踏切に関連する事故や通学路等での痛ましい交通事故が多発する中、課題とされている津丸踏切において、事故防止対策として、歩行者通行空間の確保を行い、安全性向上を図ります。									
事業の達成度を測る指標									
指標①	踏切改良工事			指標②				指標③	
目標値	着手			目標値				目標値	
実績	着手済			実績				実績	
【事前】課題（事業実施前の課題）					【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）				
軌道・踏切管理者であるＪＲ九州との実施協議を踏まえて改良工事を行っていく事業であり、事業進捗は協議状況に左右されるため、早期の完了を目指して、適時・的確に協議を進める必要があります。また、財源確保の問題もあり、国費の配分に向けて、福岡県と連絡調整を適時に行う必要があります。					歩行者通行空間を創出することで、本踏切の通行に係る車両及び歩行者等の安全性・快適性が向上し、改善が図られます。				
【事後】課題					【事後】成果				
軌道・踏切管理者であるＪＲ九州との実施協議を踏まえて改良工事を行っていく事業であり、事業進捗は協議状況に左右されるため、早期の完了を目指して、適時・的確に協議を進めていく必要があります。また、財源確保の問題もあり、国費の配分に向けて、福岡県と連絡調整を適時に行っていく必要があります。					ＪＲ九州との２箇年に渡る工事協定締結により、工事着手しました。				
課題に対する改善・改革案									
踏切改良の具現化に向けて、今後もＪＲ九州と緊密な連携、協議を図りながら、安全性・快適性向上に向けて事業を推進していきます。また、財源の確保については、福岡県等と緊密に協議して、国費の配分を得られるように努めていきます。									
事業費の内訳									
科目等	内容			金額	科目等	内容			金額
負担金・補助及び交付金	踏切改良事業負担金			13,186,990					
補償・補填及び賠償金	道路改良工事に伴う補償費			5,144,006					